



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1994-5

BE A FRIEND

友達になろう

1994-5年度国際ロータリーのテーマ/ビル・ハントレーR.I.会長

●本日の例会

3月17日/第408回例会

■卓話 「カナダの紹介と日本での経験」

青少年交換学生 **Mr.GREGORY JONES**

(ホストクラブ 東京町田サルビアロータリークラブ)

●先々週報告

3月3日/第406回例会



■卓話 「『マルコポーロ』はなぜ廃刊になったか」

アエラ編集長 蛭川真夫氏

■会長報告

①地区矢野ガバナーより阪神大震災の義援金送金に対しての御礼と途中経過報告をいただきました。(内容下記参照・受領書一通省略)

②95規定審議会における阪神大震災に対する決議文(内容下記参照)

■雑誌委員会(荒木委員長)

『ロータリーの友』3月号の読み所紹介

(1)ローターアクト週間に因んで「将来の仲間ローターアクトを増やそう」横書10~14頁。

(2)「阪神大震災に直面してロータリーの広がりを見直し」横書5頁及び関連記事縦書32頁。

(3)当クラブ吉田会員の投稿「ふれあい見学会」縦書22頁。ぜひ一読下さい。

■出席報告 ●会員72名・出席46名・欠席26名(出席規定免除者5名)

2月修正出席率は90.73%でした。

ビジター(7名・敬称略)高野 十(仙台)、吉沢幹夫(東京)、島津幸雄(東京神田)吉田輝彦(東京葛飾東)、松方 清・西山 巖・H.Schmidt(以上東京南)

1995.3.1

国際ロータリー第2750地区

各クラブ 会長 様

幹事 様

国際ロータリー第2750地区

ガバナー 矢野 洋四朗

冠省 阪神大震災の義援金につきまして、当地区各クラブ様より多大の義援金をご送金賜り誠にありがとうございました。別紙受領書の通り

1995.1.24 11,426,000

1995.2.20 20,000,000

合計 31,426,000

上記金額を、救援資金としてお送り申し上げました。其の後、更に義援金が集まってきておりますので、今月中に第3回目の義援金を現地に送金させていただきます。

当地区ロータリアンの暖かいご支援に対し、重ねて感謝を申し上げます。以上、途中経過についてご報告させていただきます。

受領書

平成7年1月27日

RIID-2750

ガバナー事務所 御中

1. 金11,426,000円也

上記金額を兵庫県南部地震救援資金として1月24日正に拝受いたしました。

平成7年1月17日に発生した地震の災害の大きさは、実情の判明するに当たって想像を絶するものとなりました。この災厄に際して、ビル・ハントレーR.I.会長、ハーバード・ブラウン次期会長をはじめ、国内はもちろん国外のロータリアンより寄せられたお見舞い、励まし、ご援助の申し出に対しては感謝の言葉もございません。地区の責任者として、その対応に誤りのなきを期したいと考えております。今後共ご指導、ご協力の程お願い申し上げます。今回のご厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

国際ロータリー第2680地区
ガバナー 計馬 忠

規定審議会における

『阪神大震災』に対する決議文

決 議

日本の神戸地域における壊滅的な地震により、この地域の人たちに多くの犠牲者、負傷者そして甚大な損害が発生しました。

全世界のロータリアンは神戸地区の人たちの苦境、特に第2880地区のロータリアンに心から同情申し上げます。

1995年規定審議会(ベネズエラ、カラカス)に出席しているロータリアンそして全世界のロータリアンは神戸地域の人たちを支援したいと思っております。

よって、全ロータリアンが、この地域の被害を軽減するために、ロータリー 506地区挙げて、日本のロータリーを支援することを決議するものです。

ニコニコBOX

順不同、敬称略

3月3日/9件 ¥27,000

94-95年度累計 ¥1,597,245

多額の御寄付を有難う

ございました。

後藤 信夫/今日は当社の95回目創立記念日です。佐々木忠行/妻の誕生日です。梶内滋男/初孫の初節句です。平井 逸夫/お雛祭りを祝って。新保 國彦/花粉症です。大日方 真、西沢 正雄/バッチを忘れました。斎藤 茂之/月1回のペースです。相澤成憲/長嶋巨人の宮崎へ行き、ゴルフ連ちゃんしました。

(文章を省略、纏めさせていただきました)

●次週予告

3月24日/第409回例会

■夜間例会/レディス・デー

(18:00~20:00)

卓話 「ほのかな明るさの世界 一老いからの問いかけ」

千葉大学文学部行動科学科教授 **天野正子氏**

●先週報告

3月10日／第407回例会

■94～95年度R I 第2750地区

地区大会

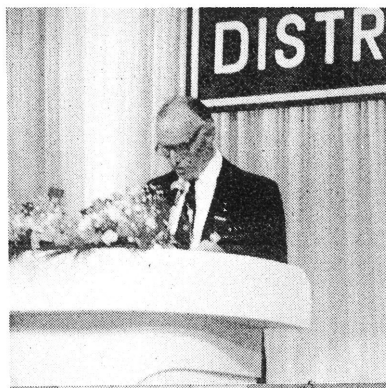
3／10(金)～11(土)

新高輪プリンスホテル国際館パミール

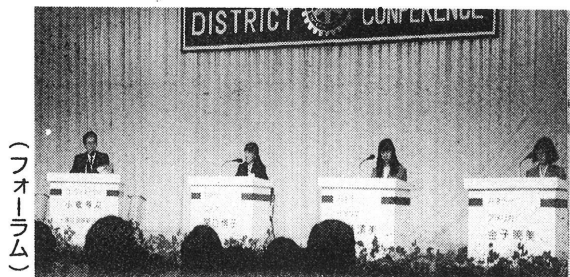
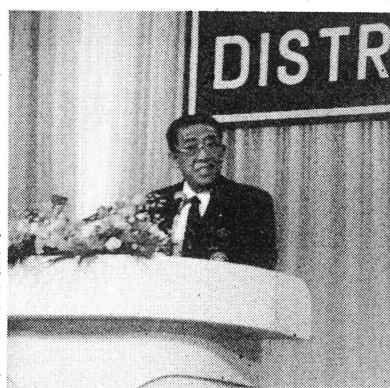
ホストクラブ／東京八王子RC

(D. I. BROWN RI 会長代理)

(実行委員長よりの開会のことば)



(矢野ガバナー)



(フォーラム)

'94～'95年度R I 第2750地区地区大会がR I 会長の「BE A FRIEND」のテーマのもとに、3月10日、11日に開催されました。

第1日目は生憎の雨にも拘らず、13:00の点鐘までに地区内の80クラブが参加して、盛んにスタートしました。まず矢野ガバナーの挨拶があり、引続きR I 会長代理のイムリー・ブラウン氏よりR I 会長のメッセージの伝達と現況報告が行なわれました。統計によると、現在ロータリークラブ会員は世界50か国、2700以上のクラブで、120万人ほどいるが、質よりも量になりがちな傾向を避けねばならない。又職業奉仕、労使関係、社会奉仕、口

ターアクト、及び国際奉仕についてのロータリーの基本理念はどのようなものか等、感銘深く話されました。

午後からは、4人の学生をパネラーとしてフォーラムとGSEチームを囲む座談会が行われました。そして本会議の締めくくりは磯村尚徳氏の「世界から見た日本」と題した国際化時代に相応しいテーマの講演で幕を閉じました。引続きR I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会がなごやかに開催され充実した第1日目が終了しました。

第2日目は晴天で9:00に点鐘。始めに矢野ガバナーより地区の現況報告があり、その中で本年度の新規の行事としてGSE研究グループ(米国ボストン第7930地区との交換制度)並びに韓国の第3650地区との青少年交換制度設立等の説明がありました。更に秋山パストガバナーの規定審議会報告では世界を34のゾーン、そして日本を4つのゾーンに再編成する案、又メイクアップを例会の前後2週間とする案が審議されたとの報告がありました。

引続き「ロータリーの森」基金贈呈式、学生とアクトの紹介、更に畑恵氏の講演があり、最後にR I 会長代理の所感を持ち地区大会は無事に終了しました。「第2750地区の地区大会は素晴らしかったとR I 会長に報告する。次回はRENDEZ-VOUS A NICE、ニースでお会いしましょう」、イムリー・ブラウン氏の人柄が分かる簡潔で心優しいスピーチが印象に残りました。

(当クラブ 49名出席) (宮本 記)



(当クラブ紹介)

東京新南ロータリークラブ

会長：馬場一廣 副会長：二宮利泰 幹事：後藤信夫

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

吉田 用親、柴藤清三郎、川鍋 二郎、

田中 武、山川 政樹、梶内 滋男、

宮本 正祥、新保 國彦、横山 秀明、

河原 勢目(編集担当順)